第 012 講 文章構成② 対比で段落を展開する

到達目標

段落ごとに扱う対象と、その対象について述べる内容を分けて読む。二つの段落で共通する比較の観点を見つけ、その対比が文章全体の中心をどう説明しているかを答えられるようにする。

段落どうしの対比を読む方法

まず最初の段落から、文章全体が何を説明するのかをつかむ。続いて、比べる段落ごとに「何を扱っているか」と「それについて何を述べているか」を分けて拾う。

次に、両段落の情報を**同じ観点**で並べる。片方では場所、もう片方では人数を比べるような読み方では、対比を確定できない。最後に、対応する情報の違いが冒頭の説明をどう具体化するかを確かめる。対比の目印があるだけ、対象が二つあるだけ、あるいは三段落という形だけで対比型と決めつけない。

©ミライコーチング

英文を読む

英文

The riverside path in Brook Town has changed in width over time. A weekend program for local families and other visitors shows this change through two views of the same place. The program offers an indoor display of old photographs and a guided walk beside the river. These activities present the path at different times, with a clear focus on the space for walkers.

The photograph display is in a small room near the town hall, with several pictures on the walls. Many years ago, this same section of the riverside path looked different. In these pictures, the path is narrow, and two people have little room to walk side by side. In one photograph, a family waits at the side as other walkers pass through the small open space. A note beside the pictures explains that people often walked in a line on busy afternoons.

The guided walk takes visitors to the same part of the riverside path today. Here, the path is wide, and several people can walk next to each other without trouble. The guide stops at a bend that also appears in one of the old pictures. Visitors can look across the wide path and compare that space with the narrow path in the photographs. Now families can move past other walkers easily, even when many people are using the path. At the end of the walk, visitors can see the path's present width with their own eyes.

語注：riverside path＝川沿いの道／display＝展示／guided walk＝ガイド付きの散策／section＝区間／bend＝道の曲がり角／side by side＝横に並んで

©ミライコーチング

読解問題

問 1

この英文の 3 段落全体を通して伝えている中心内容を、日本語の一文で答えよ。

問 2

最初の段落は、後の二つの段落を読むために何を導入しているか。段落の役割を日本語で答えよ。

問 3

真ん中の段落と最後の段落で比較されている、川沿いの道の二つの姿は何か。二つを組にして日本語で答えよ。

問 4

真ん中の段落と最後の段落は、川沿いの道の何を共通の観点として説明しているか。短い日本語で答えよ。

問 5

問 4 で答えた観点について、真ん中の段落に登場する道と最後の段落に登場する道はどう違うか。二つを対応させ、日本語の一文で答えよ。

問 6

真ん中と最後の段落を対比させることは、最初の段落の中心内容を説明するうえで、どのような働きをしているか。日本語で答えよ。

©ミライコーチング

解答・解説

問 1

模範解答

ブルックタウンの川沿いの道は時間とともに幅が変わり、昔の写真展示と現在のガイド付き散策を通してその変化を確かめられるということ。

最初の段落にある has changed in width over time が、文章全体を覆う説明の核である。続く shows this change は、催しがその変化を示すことを明確にしている。真ん中の段落では古い写真、最後の段落では現在の道を扱い、同じ変化を異なる時点から説明している。
「川沿いの道」だけでは話題の名前にすぎず、何を伝える文章かが欠ける。また、写真展示の様子だけを中心にすると、最後の段落を覆えない。「道の幅が時代によって変化したことを、過去と現在の姿で説明している」といった言い換えも成り立つ。

問 2

模範解答

川沿いの道の過去と現在を比べるために、写真展示とガイド付き散策という二つの活動を紹介する導入。

最初の段落の A weekend program と The program offers に注目する。この段落は、読者が後でたどる二つの活動と、それらが同じ場所を異なる時点から見せることを先に示している。これは、文章全体が伝える内容そのものを答える問 1 とは違い、**後続段落へ読み手を案内する役割**を問う問題である。
したがって「道の幅が変わったこと」という内容だけで終わらず、比較のために活動を紹介する導入だと整える。「過去と現在の見方を用意する段落」のような表現も許容できる。

©ミライコーチング

問 3

模範解答

昔の川沿いの道と、現在の同じ川沿いの道。

真ん中の段落の Many years ago は昔の道を、最後の段落の today は現在の道を示す。さらに、両方に同じ区間を表す記述があるので、別々の道を比べているのではない。
答えるのは**時点の異なる同じ道の二つの姿**である。写真展示とガイド付き散策はそれらを示す活動であって、幅を比べる対象そのものではない。「かつての道と今の道」でもよい。狭さ・広さはまだ書かず、対象名だけにとどめる。

問 4

模範解答

川沿いの道の幅。

真ん中の段落では the path is narrow、最後の段落では the path is wide と述べる。narrow と wide は同じ特徴、すなわち道の幅を反対の方向から表す。最初の段落にも changed in width とあり、観点の一致を確認できる。
「写真展示と散策」は道を見せる活動であり、比較の観点ではない。「昔は狭く今は広い」は違いの答えであって、共通して比べている観点の名前ではない。「道を歩く人が使える横方向の広さ」でもよい。

ミライポイント！

比較の観点は、両方の段落に同じ問いを向けると見つけやすい。片方から「道の幅」を取り出したら、もう片方からも幅についての記述を探す。答えを横に並べて初めて、段落間の対比を確認できる。

問 5

模範解答

写真展示で示される昔の道は狭く、二人が横に並んで歩く余裕がほとんどないのに対し、散策で見る今の道は広く、複数人が横に並んで歩ける。

二つの段落から、問 4 の「道の幅」だけを取り出して対応させると、次のようになる。

比較の共通観点	昔の道（写真展示で見る姿）	今の道（ガイド付き散策で見る姿）
川沿いの道の幅	昔の道は狭く、二人が横に並ぶ余裕がほとんどない	今の道は広く、複数人が横に並んで歩ける

真ん中の段落の two people have little room と、最後の段落の several people can walk next to each other が対応している。表の「狭い／広い」だけでも中心となる差は表せるが、歩く人の様子を添えると本文との対応がはっきりする。
写真の置き場所と散策の案内場所を比べても、道の幅という共通観点から外れる。解答は「写真展示では……、散策では……」と一文でまとめればよく、優劣や別の違いは加えない。

©ミライコーチング

問 6

模範解答

昔の写真が示す道と現在の散策で見る同じ道を幅の観点で対応させ、冒頭に示された幅の変化を具体的に理解できるようにする働き。

最初の段落は道の幅が時代によって変わったことを示す。真ん中の段落は昔の写真に見える狭さを述べ、最後の段落は同じ区間にある現在の広さを述べる。同じ場所について同じ観点の情報がそろうため、冒頭の「変化」が具体的な姿として読める。

単に「一方は狭く、他方は広い」と書くのは、問 5 の違いの再回答である。この問では**その違いを並べることが、冒頭の説明をどう支えるか**まで示す。また、最後の段落に対比の目印があるかどうかだけでは決められず、二つの段落の実際の内容が対応することが根拠となる。

ミライポイント！

段落間の対比を見つけたら、違いを述べて終わらない。最初の段落に戻り、その違いを並べることで文章全体の何が具体的に分かるのかを確認する。段落の役割と全体中心を分けて考えられる。

©ミライコーチング

全文の構造分析

同じ英文を用いた補助資料。〈 〉は名詞の働きをするまとまり、〔 〕は名詞を説明するまとまり、( ) は状況などを加えるまとまりを示す。英文のすぐ下に入る S′・V′ などは句・節の内部、下段の S・V などは文の骨格を示す。

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

〈The riverside path 〔in Brook Town〕〉 has changed (in width) (over time).
S V M M

〈A weekend program 〔for local families and other visitors〕〉 shows 〈this change〉
S V O

(through two views 〔of the same place〕). 〈The program〉 offers
M S V

〈an indoor display 〔of old photographs〕 and a guided walk 〔beside the river〕〉.
O

〈These activities〉 present 〈the path〉 (at different times), (with a clear focus 〔on the
S V O M M

space 〔for walkers〕〕).

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

〈The photograph display〉 is (in a small room 〔near the town hall〕),

(with several pictures 〔on the walls〕). (Many years ago), 〈this same section 〔of the

riverside path〕〉 looked different. (In these pictures), 〈the path〉 is narrow, and

〈two people〉 have 〈little room 〔to walk (side by side)〕〉. (In one photograph), 〈a family〉

waits (at the side) (as 〈other walkers〉 pass (through the small open space)).

〈A note 〔beside the pictures〕〉 explains 〈that 〈people〉 (often) walked (in a line)

(on busy afternoons)〉.

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

〈The guided walk〉 takes 〈visitors〉 (to the same part 〔of the riverside path〕) (today).
S V O M M

(Here), 〈the path〉 is wide, and 〈several people〉 can walk (next to each other)
M S V C S V M

(without trouble). 〈The guide〉 stops (at a bend 〔that (also) appears
M S V S′ M′ V′
M

(in one of the old pictures)〕). 〈Visitors〉 can look (across the wide path) and compare
M′ S V M V

〈that space〉 (with the narrow path 〔in the photographs〕). (Now) 〈families〉 can move
O M M S V

(past other walkers) (easily), (even when 〈many people〉 are using 〈the path〉).
M M S′ V′ O′
M

(At the end 〔of the walk〕), 〈visitors〉 can see 〈the path's present width〉
M S V O

(with their own eyes).
M

一文ずつの対訳

対訳

The riverside path in Brook Town has changed in width over time.
ブルックタウンの川沿いの道は、時がたつにつれて幅が変わってきた。

対訳

A weekend program for local families and other visitors shows this change through two views of the same place.
地元の家族やほかの来訪者向けの週末の催しでは、同じ場所の二つの姿を通してその変化を示している。

対訳

The program offers an indoor display of old photographs and a guided walk beside the river.
その催しでは、昔の写真を展示する屋内の企画と、川沿いを歩くガイド付きの散策が用意されている。

対訳

These activities present the path at different times, with a clear focus on the space for walkers.
どちらの活動も、歩く人が使える空間に着目し、異なる時代の道の様子を紹介している。

対訳

The photograph display is in a small room near the town hall, with several pictures on the walls.
写真展示は町役場の近くの小さな部屋で行われ、壁には何枚かの写真が飾られている。

対訳

Many years ago, this same section of the riverside path looked different.
何年も前、この川沿いの道の同じ区間は、今とは違う様子だった。

©ミライコーチング

対訳

In these pictures, the path is narrow, and two people have little room to walk side by side.
写真の中では道が狭く、二人が横に並んで歩くための余裕はほとんどない。

対訳

In one photograph, a family waits at the side as other walkers pass through the small open space.
ある写真では、ほかの歩行者が狭い空間を通るあいだ、一家が脇で待っている。

対訳

A note beside the pictures explains that people often walked in a line on busy afternoons.
写真のそばの説明文には、人通りの多い午後には人々がよく一列になって歩いていたと書かれている。

対訳

The guided walk takes visitors to the same part of the riverside path today.
ガイド付きの散策では、来訪者を今の川沿いの道の同じ区間へ案内する。

対訳

Here, the path is wide, and several people can walk next to each other without trouble.
そこでは道が広く、何人かが無理なく横に並んで歩ける。

対訳

The guide stops at a bend that also appears in one of the old pictures.
ガイドは、古い写真の一枚にも写っている曲がり角で立ち止まる。

対訳

Visitors can look across the wide path and compare that space with the narrow path in the photographs.
来訪者は広い道を見渡し、その空間を写真に写る狭い道と比べられる。

©ミライコーチング

対訳

Now families can move past other walkers easily, even when many people are using the path.
今では、道を使う人が多いときでも、家族連れはほかの歩行者の横を容易に通り過ぎられる。

対訳

At the end of the walk, visitors can see the path's present width with their own eyes.
散策の終わりには、来訪者は現在の道の幅を自分の目で確かめられる。

©ミライコーチング